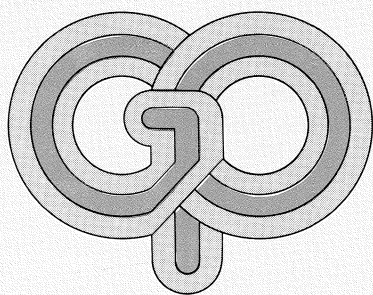


岐阜県の プラスチック



工業組合とデザイン協会が総会を開く

新理事長に武藤昭三氏。工業組合の新役員決まる

岐阜県の中小企業融資制度一覧表

短納期発注と多頻度小口納入で公取が通達・協力を要請

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

岐山会館で開いた工業組合の総会



新理事長に武藤氏を選ぶ

工組とデザイン協会の総会開く

役員改選、大野理事長は顧問に

岐阜県プラスチック工業組合は、5月21日午前10時30分から岐阜市内にある岐山会館で『第23回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第29回通常総会』を開催した。工業組合の議題は①平成2年度の事業報告・収支決算②平成3年度事業計画・収支予算③平成3年度の賦課金及びその納入方法について④平成3年度の取引金融機関及び借入金最高限度額⑤任期満了による役員の改選 ― など5議案である。

このうち役員改選では、新理事長に武藤昭三氏、副理事長に大松利幸、児玉俊一、大野實の3氏をはじめ、理事、監事を選出した。

原料メーカーとユーザー の間で苦しむ成形加工業

通常総会は大松副理事長の開会あいさつで始まり、続いて大野理事長が「湾岸戦争でナフサが高騰し、原料メーカーは一片の通知で樹脂価格の値上げを行った。成形加工業界は製品価格への転嫁が思うにまかせずコストプッシュに四苦八苦を重ねてきた。一方、湾岸戦争後はナフサもドルも下がったが、樹脂価格はそのまま。今度はユーザーから製品の値下げを要求される始末。原料メーカーは金利や運賃の高騰を理由にガンとして樹脂の値下げに応じない」と業界の現況を報告「成形加工業界は、原料樹脂メーカーとユーザーの間に立って苦慮している。この苦況を、業界の団結と協力によって乗り越えたい」と呼びかけた。



事業計画や予算を承認した総会。下は武藤新理事長の挨拶

事業計画、予算など全議案可決

議事は①平成2年度の事業報告と総額4,779万余円にのぼる平成2年度の決算②7項目にのぼる平成3年度の事業計画と総額4,622万円の収支予算③平成3年度の賦課金及び納入方法一の各議案を審議、原案どおり可決した。

このうち平成3年度の事業計画は①指導教育事業は、県・県工業技術センターなどの関係機関の協力を得て、講習会、見学会、巡回技術指導などの事業、また県職業能力開発協会の委託により「プラスチック射出成形」の技能検定試験を実施する。さらに金型工業組合と連携して「プラスチック成形用金型製作」についても技能検定試験を実施するなど技術向上に努める。

②情報提供事業は、会報「岐阜県のプラスチック」を発行し、緊急を要する場合は随時情報提供する。

③共済事業と共同購買事業では自動車、車検

電化製品、医薬品などディーラーや取扱店と提携し、組合員および組合員の従業員の福利厚生を充実させるために、共済事業を行う。また、従来の割賦制度もより従業員に有利、簡便な銀行口座引落方式による返済とする。

共同購買事業は離型剤から金型用棚、コンベヤーなどの工場設備機器まで枠を広げて実施、共済事業と同様に市価より相当安価に提供できるようにする。

④金融事業は県、政府系金融機関より借入や設備機器などのリースのあっ旋を行う。

⑤事務代行業は、労働保険の事務委託（労働保険事務組合の認可済み）など組合員に代わって業務を行う。

⑥調査研究では随時、緊急課題を取り上げる

⑦福利厚生事業では、保険業務の代理店事業やレクリエーションなどの事業を行う。

これらの事業を進める事業予算として、総額4,622万円を計上した。

工業組合の新役員が決まる

武藤理事長はじめ理事13人に監事2人を選ぶ

第23回通常総会の席で行われた任期満了に伴う工業組合の役員改選は、選考委員による推薦方法で行い、新理事長に武藤昭三氏を選んだのははじめ次の各氏を選出した。また、前大野繁俊理事長を顧問に選んだ。

〈理事長〉

武藤昭三（ムトー精工㈱）

〈副理事長〉

大松利幸（岐阜プラスチック工業㈱）

児玉俊一（コダマ樹脂工業㈱）

大野 實（㈱東海ポリエチ工業所）

〈理事〉

納土栄一郎（東和化成㈱）

奥村 勝（天龍工業㈱）

日比正隆（大垣プラスチック工業㈱）

吉田博司（美濃化学工業㈱）

奥村三七太（三光合成㈱岐阜工場）

加藤法康（日本工芸㈱）

清水昭市（㈱清水樹脂）

杉山元彦（パール化成品㈱）

長谷典雄（信和工業㈱）

〈監事〉

林 光夫（関化成工業㈱）

篠田 哲（岐阜技研ポリマー㈱）

プラスチックデザイン協会も総会

続いて岐阜県プラスチックデザイン協会の第29回通常総会を開き、平成3年度の事業計画と予算を決めた。年間予算は21万円で①デザイン講習会②デザイン関係の基礎資料配布③デザイン関係の異業種交流参加 — などを実施する。

大野前理事長に感謝状

「総会で武藤理事長から手渡す」

工業組合は新年度総会で顧問に就任した前理事長の大野繁俊氏へ感謝状と記念品を贈った。工業組合が発足した昭和35年4月から今までで理事、副理事長、理事長として組合の発展に貢献したことに感謝したもの。(右上の写真)



感謝状は武藤新理事長から記念品とともに手渡され、大野前理事長は「プラスチック協会時代から数えて、人生の半分を組合活動にたずさわってきたが、この機会に業界の第一線を退くことにしました。また、組合顧問の職をいただいたが、身に余る光栄です」と、感慨深げにあいさつした。

施設や機器さらに充実

服部次長と岸上場長が来賓祝辞

工業組合は総会に来賓を招き、服部和良岐阜県商工労働部次長と岸上慎次郎岐阜県工業技術センター場長の二人から祝辞をいただいた。

＜服部商工労働部次長＞ プラスチックは生活分野ばかりではなく、工業材料分野に欠かせない新材料として活用されています。県としても本庁に新素材対策監を配置し、毎年、工業技術センター、金属試験場のプラスチックに関係する試験研究体制や施設・機器の充実を図っていく方針です。

＜岸上工業技術センター場長＞ これまで金属試験場を中心に工芸、紙業、陶磁器の各試験場を経て、4月に着任したばかりです。その着任早々に業界の方から「プラスチックに対する指導面が弱くなった」という話を聞きましたが決してプラスチック業界を無視していません。

近年、プラスチック材料に新しい機能性を持



左から服部氏と岸上氏

つ樹脂が相次ぎ登場し、機能性樹脂＝新素材といわれるほどです。このため県としても、組織と研究体制を再編成し、プラスチック材料を新素材の分野に含めて体制を整えてきたのです。

今後取り組むことは研究開発、情報ネットワーク、人材養成の三事業です。プラスチック分野の研究では、約2億円をかけて大型分析機器を導入し、産学官の共同でポリマー・アロイなどの開発を研究していきます。

また、成形技術の品質向上を図るためタグチメソット・シンポジウムで最優秀賞を受賞した長屋専門研究員を講師に「タグチメソット研究会」を開催する予定です。

実技技能検定は8月19日から実施 「ハイテク時代」にふさわしく66人参加

工業組合は岐阜県職業能力開発協会から委託をうけ、昨年より遅れるが8月19日から岐阜県工業技術センターで『平成3年度のプラスチック射出成形技能検定』を実施する。また、これに先立って受検者を対象に『特別講習会』を7月31日から2日間開き、基本からみっちり勉強してもらうことにした。

検定に先立ち特別講習会を開く

今年度のプラスチック射出成形の受検者は、実技、学科ともで1級10人、2級56人の合計66人と、過去最高の昨年には及ばないが高水準の受検で、ハイテク時代にふさわしくレベルの高い技能検定になりそう。受検内容別では1級が実技だけ6人、学科と実技が4人、2級では実技13人、学科が20人、学科と実技が23人。

技能検定に先立って開く特別講習会は、例年よりやや遅れるが、7月31日から2日間、実技検定の試験会場と同じ岐阜県工業技術センターの講堂で開催する。

講習内容は、第1日が①実技試験の解説と受検対策②学科試験の解説と受検対策③機械取り扱い説明と加工技術④受検日と使用機種 of 公開抽選。第2日は午前の組と午後の組とに分かれてそれぞれの機種により、金型の取付け、操作等についてそれぞれ実習する。

講師は日置正首席検定委員、長屋喜八岐阜県工業技術センター職員、日精樹脂工業のサービスエンジニアがあたる。

実技の技能検定は

8月19日から2級

8月30日から1級

技能検定は、2級の実技検定が8月19日から8月23日までと8月26日から29日までの9日間にわたって行う。

また、1級の実技検定は8月30日の午後と9月2日から3日の午前、午後の3日間行う。

なお、学科の検定試験は8月25日(日)に岐阜大学で、全国統一のもとにペーパーテストが行われる。合格者の発表は、10月3日(木)に予定され、岐阜県・岐阜県職業能力開発協会から受検者に通知される。

実技試験問題は例年と同じ内容

なお、プラスチック成形の実技試験問題の概要は次の通りである。

≪1級≫ 二種類の熱可塑性樹脂を使用して射出成形により箱状の成形品を製作し、「成形収縮率計算票」及び「材料歩留り率計算票」を作成する。試験時間は4時間30分。

≪2級≫ 二種類の熱可塑性樹脂を使用して、射出成形により箱状の成形品を製作する。試験時間は3時間30分。

下請アドバイザーに2人を委嘱

岐阜県中小企業振興公社は『下請中小企業アドバイザー』に武藤良雄と箕浦弘の両氏を委嘱し、活用を呼び掛けている。下請中小企業が抱える技術、生産管理、新製品開発、取引先の開拓など経営全般の現地指導と助言をする制度で活用がもたれる。

相談は無料で、指導希望は同公社の下請振興課(0582-74-0111内線295)まで。

岐阜県の中小企業融資制度一覧表（平成三年四月一日現在）

資 金 名		融 資 対 象	融資限度額（万円）	
			個人・会社	組 合
中小企業経営安定資金	経営安定資金	中小企業者及び組合	2,000	5,000
	関連倒産防止資金	知事が確認した倒産企業に対し50万円以上の債権を有している次のいずれかの者 (1)倒産企業に対する取引依存度が20%以上の者 (2)経営の安定に支障をきたすと認められる者	1,800	5,000 (ただし、 債権相当額の範囲内)
	事業転換資金	県から事業転換計画の認定を受けた者	1,000	—
	中核的企業育成資金	常時使用する従業員数が製造業30人以上、卸売業20人以上で次の全てに該当する者 (1)自社製品又は技術開発に意欲のある者 (2)受注・発注又は販路の拡大に意欲のある者 (3)関連企業の経営援助・指導に意欲のある者	2,000	～ 5,000 (うち運転3,000)
	小規模企業活性化資金	小規模企業者 従業員が20人以下（商業・サービス業5人以下）の者	1,500	—
商業・サービス業活性化資金		経営の近代化、効率化を図る中小企業者及び組合（商業・サービス業に限る）	—	
環境改善事業促進資金	労働環境改善資金	労働環境を改善しようとする中小企業者及び組合 ・職場環境の整備 ・研修施設の整備 ・福利厚生施設の整備 ・時短のための設備投資	5,000	
	地球環境改善資金	地球環境改善を積極的に図る中小企業者及び組合 ・省エネ設備の導入等 ・CO ₂ 削減機器導入等 ・産廃リサイクル関連 ・エコマーク商品の製造等	(うち運転2,000)	
地域経済活性化資金	むらおこし産品育成資金	むらおこし事業の一環である県産品等を製造する中小企業者及び組合	—	
	ハイテク・ハイタッチ産品育成資金	ハイテク分野の研究開発、企業化及びハイタッチ分野のデザイン委託開発、イベント開催、スポーツ・レジャー施設整備等の事業を行う中小企業者及び組合	1,000	3,000 (うち運転3,000)
無担保無保証人制小口資金		所得税（法人税）、事業税、又は所得税割のある県民税もしくは市町村民税のいずれかを最近の1年間完納している者で、次のいずれかに該当する者 (1)従業員5人以下（商業・サービス業2人以下） (2)事業協同小組合及びその組合員 (3)従業員数が5人以下の企業組合、協業組合	450	
中小企業季節資金（夏季・年末）		中小企業及び組合	500	3,000
中小企業体質強化資金	地域産業対策資金	人材不足対策	3,000 (うち運転2,000)	—
		経営安定対策	2,000	—
	地域振興対策	地域産業振興ビジョンに基づき事業合理化を行う中小企業者 広域過疎圏における中小企業者	—	—
組合共同事業推進資金		共同事業を実施する組合	—	5,000
フロンティア企業育成資金		技術又は事業の新規性を有し、かつ法律に基づく指定地域内又は県の計画等に基づき行う中小企業者及び組合	1,000 (うち運転3,000)	
中小流通業事業転換等特別資金		半径20km以内の地域における大型店の出店により影響を受け、事業転換・新分野進出を行う中小商業・サービス業者であって、別に定める要件に該当している中小企業者及び組合	3,000 (うち運転2,000)	

融資期間		融資利率	信用保証	保証人担保	摘要
運転	設備				
5年	7年 (据置6月)	年6.5% (付保年 6.3%)	必要により 年0.7%	金融機関	県の確認書 必要
	—	年6.1%	すべて必要 年0.67% 3,300超は 年0.7%		
	7年 (据置6月)	年6.5% (付保年 6.3%)	必要により 年0.7%	所定方法	県の認定書 必要
				無担保	中核的企業 確認書を金融 機関にて作成
	7年 特例10年 (据置1年)	年6.1% (付保年 5.9%)	必要により 年0.7%	金融機関 所定方法	活性化計画書 を金融機関に 提出
					市町村又は 商工会の認定 書必要
	7年 (据置1年)	年5.9% (付保年 5.7%)	必要により 年0.7%	金融機関 所定方法	労働環境改善 計画書を金融 機関に提出
					試験研究機関 の認定書必要
7年 (据置1年)	年5.6% (付保年 5.4%)	必要により 年0.7%	金融機関 所定方法	市町村又は 商工会の認定 書必要	
7年 特例10年 (据置1年)	年5.4% (付保年 5.2%)			県事務所・ 試験研究機関 市町村の認定 書必要	
3年	5年 (据置6月)	年6.1%	すべて必要 年0.65%	納税要件 を満たして いない者 は、保証人 1人以上必 要	納税領収書又 は納税証明書 必要
5月	—	年6.5% (付保年 6.3%)	必要により 年0.7%	金融機関 所定方法	県事務所の 認定書必要
5年 (据置1年)	7年 (据置1年)	年6.0%	すべて必要 年0.7%		市町村の認定 書等必要
			必要により 年0.7%		事業合理化計 画書、市町村 の推薦書必要
	7年 特例10年 (据置1年)	年5.1%	すべて必要 年0.7%		岐阜県中小企 業団体中央会 の認定書必要
	7年 (据置1年)	年5.5% (付保年 5.3%)	必要により 年0.7%	県事務所又は 試験研究機関 の認定書必要	県事務所 の認定書必要

人不足に融資制度

人不足対策資金と 労働環境改善資金

岐阜県商工労働部は、中小企業の経営安定及び合理化を促進し、その振興と発展に役立つことを目的に種々の融資制度を設けている。

とくに今年度は人不足が一段と深刻化していることから「人材不足対策特別資金」を引き続き実施するほか「労働環境改善資金」を新設したことである。

人材不足対策資金は、人材不足による経営困難に対応し、省力化投資による生産性向上を図る企業に融資される。

期間は特例の10年

また、労働環境改善資金制度は①職場環境の整備②福利厚生施設の整備③研修施設の整備④時短のための設備改良 — など労働環境を改善する企業に融資される。いずれも設備リース資金に限られる。

融資利率は年6.1%（付保の場合は年5.9%）で、融資を受ける場合は労働環境改善計画書を金融機関に提出することが義務付けられている。

なお、設備資金融資期間の特例10年とは、導入設備等の耐用年数が7年を超えるもので、知事に必要と認められたもの。

短納期発注と多頻度小口納入に伴う違反行為を追加 公正取引委員会と中小企業庁が親事業者や団体へ通達

公正取引委員会と中小企業庁は、さる5月7日に『いわゆる“短納期発注”及び“多頻度小口納入”に伴って生ずる下請法違反行為の防止について』と題し、下請代金支払遅延等防止法の運用基準に新たな違反行為を追加し親事業者・親事業者団体へ通達、要請した。

中小企業の労働時間短縮を阻害

それによると、近年、労働時間短縮などの要請の高まりの中で、中小企業の労働時間短縮を阻害する発注者の発注方式の改善が重要な決め手になっている。

この情勢の下で、発注者が納入業者の生産・納入体制を十分考慮しないで発注後短期間に納入を指示するいわゆる“短納期発注”及び発注者が自己の都合で納入業者に従来より頻繁に少量を納入させる“多頻度小口納入”が下請取引に適用された場合には、下請事業者の労働時間短縮の阻害要因となる。しかも、その方法いかんでは、親事業者の予算単価のみを基準として一方的に通常より低い単価で下請代金の額を定めることなどにより、下請法上問題を生ずるおそれが出てきた。

このため昭和62年の通達『下請代金支払遅延防止法第4条第1項に関する運用基準』に、違反行為事例を追加し“短納期発注”及び“多頻

度小口納入”に伴ってどのような行為が下請法に違反するかを明確化することによって、違反行為の未然防止を図ることにしている。

ジャストインタイムに見直し論

流通段階の在庫を少なくする『ジャストインタイム（JIT）方式』の物流が、運転手不足や道路渋滞、排気ガス問題などに直面し、各方面で見直し論が出ている。

必要な時に、必要な量を、必要な場所に届けるこの方式は、生みの親のトヨタ自動車をはじめ製造業の効率性を飛躍的に高め、近年は食品製造から小売業界にまで広がった。

問題の第一は運転手不足、二つ目は慢性化した幹線道路渋滞、三つ目は排気ガスによる環境の悪化である。見直し論は政府はじめ通産省、運輸省、労働省、環境庁など関係各省から出ており、それぞれ見直しの視点は微妙に異なるものの、見直しに向けて一斉に関係業界の指導に乗り出している。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

◎物流が主体の印刷・組立工場◎

ムトー精工（武藤昭三社長）が本社の南に建設していた新工場が完成、稼働した。新工場は物流システムの構築を主体とした印刷・組立工場で、この完成でプラスチック用金型の設計→製作→成形→組立→物流センターにいたる一貫生産工場が誕生したことになる。

新工場は敷地1,410 平方メートルに鉄骨 3 階建て延べ2,934 平方メートルの規模。1 階は物流センター、2・3 階はビデオ部品などの印刷組立工場である。新工場完成を機会に工場の名称変更を行い、本社・金型工場と筑波工場はそのままに、旧川崎工場を岐阜第一工場、新工場を岐阜第二工場とした。

なお、一貫生産体制が整ったのを機会に平成 4 年の株式公開をめざす。

◎地球を飛び出して未来に向う◎

天龍工業（福西紀雄社長）は創立45周年を機会にグループ10社の社章を一新し、同時にCIマークを定めた。新社章は従来の社章に円を加え、三角形の三本柱で「お客様第一」「一流の品質」「まず協調」の社訓、さ



らに「株主・経営者・従業員による三位一体」を表している。

CIマークは社章を白抜きにしたもので、楕円は地球を表し、地球を飛び出し未来に向けてはばたく様子を表現している。また、コーポレートカラーも定め「セルビアン・ブルー」とした。社名発祥の地である天龍川の源流をイメージしたという。

◎ポリマーアロイの利用を研究◎

岐阜県工業技術センターが平成 3 年度に取り組む研究事業テーマが決まった。プラスチック業界と関係するテーマを紹介すると①機能性材料を利用したハイタッチ製品のデザイン開発研究②デザインエキスパートシステムの開発③金型内樹脂流動解析に関する研究(Ⅲ)④ポリマーアロイの利用技術研究(Ⅱ)⑤ファインセラミックスの射出成形技術研究 — など。

このうちポリマーアロイの利用技術研究は、2 種類以上のプラスチックをブレンドしたポリマーアロイ化によって、プラスチック材料の改質、成形加工性の向上、ローコスト化が図られる。そこで液晶プラスチックの改質を目的にポリマーアロイ化技術を検討し、高性能及び高機能を付与したポリマーアロイの材料開発と成形加工性の評価を行う。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座 4 丁目 2 - 11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅 4 丁目 7 番 23 号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

◎ヒット商品が出ない理由は◎

新しい事業や開発を担当した人がグチる言葉は、決まって次のようだ。「もう失敗は許されない」「藁にもすがる思いです」「もし失敗したら自分の責任になります」「失敗したら部下や上司にバカにされる」

グチはまた続く。「どうして良いアイデアが出ないのか」「そのアイデアは良いけど売れないよ」「他社と同じやり方が安全だ」「奇抜な点に抵抗感があってね」「あそこの会社の新製品はうちの会社にもあったよ」。

これらの言葉の裏にあるのは、いずれも「無責任思考」という悪い虫である。もう失敗が許されないというのは「今まで失敗を平気でやってきたのか」といわれても仕方がない。失敗を正当化したり、失敗に恐れては何ともやりきれない姿である。しかも、自分の利害や保身を中心に開発スタッフを選ぶようでは、すでに失敗を前提に新製品開発に取り組んでいる証拠である。

「アイデアが出てこない」と、口癖のようにいうのは、無能を表明するようなもの。他人のアイデアを評価できないのは、ヒット商品

の勉強不足である。ましてや他社と同じやり方は、もはや失敗を宣言したのと同じである。

他社に追随するのは、モノマネ、盲従、二流意識などにつながり、いつまでたってもヒット商品は出せない。つまり開発者の資格の問題につながる。開発者はチャレンジ精神が旺盛でなければ失格。それに奇抜なアイデアも大切。

日本人は、奇抜性を自分で演出するのは嫌うが、他人がやるのを見るのは好きだ。自分は正常であるが、他人は変わり者と考えたいのが日本人の特性。そこに目を付けないとヒットは飛ばせない。外国人が、日本人はシャイ（恥ずかしがり屋）だという意味がよく分かる。最近の新人類に個性があるような言い方をする人がいるが、まったくの誤解だ。いまの若者で個性があるとすれば、オチコボレ学生群だ。

優秀な成績、一流大学の卒業生には、ほとんど個性はない。したがって最近の一流企業にはおとなしく、他人の意見に反対しない。そんな若者が多い。幸か、不幸か中小企業へは、偏差値の高い学生や一流大学の卒業生は入って来ない。とすれば中小企業へ入社してくる人材は、大企業へ行き損ねた「個性と奇抜性のある若者が多い」という結論が出てくる。それでよい。大切なのは「入社後の人材教育であり、人事管理」といえるが、みなさんのお考えは。

出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GF PET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルプ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎ 052-204-6051~3

良い設備で良い製品を高能率生産

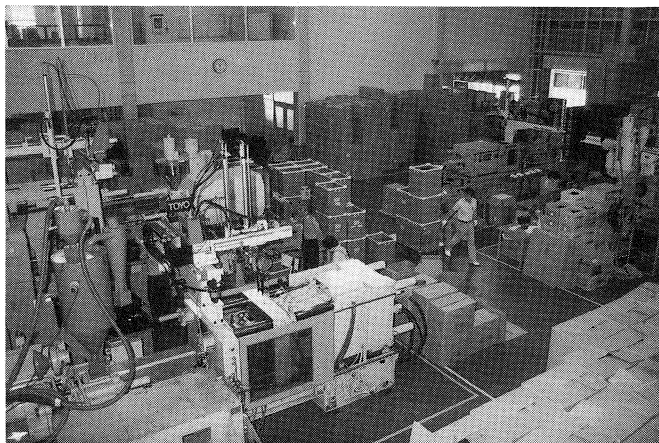
株式会社中部合成

新年度第1回の工場訪問は、岐阜市の下川手にある正法寺町から高富町へ本社と工場を移転した株式会社中部合成（資本金1,500万円、足立敬司社長）を訪ねた。新本社工場は岐阜市を北上し、高富街道の北詰め、国道157号線の道路沿い。早朝から納品トラックが出入りし、クリーム色の建物が朝日に映える。（写真右上）

旧工場は、6年前に建てて間もない建物だが「近年、成形品が大型化したことや付近の道路が狭く、頻繁な納品作業ができなくなり決断した」と足立さんは移転理由を話す。

相次ぎ大型成形機を設置、稼働

工場の規模は用地3,000平方メートルに、延べ2,000平方メートルの建物。一部2階建て部分は事務所、会議室、応接室などの本社機能。成形工場に入ると、これまでとは異なり機種がぐんと大型化。450トンと250トンの最新インジェクションが、心地よいうなりをたてて稼働する。



新工場には大型射出成形機を導入、本格稼働している



さらに6月18日には650トンの三菱インジェクションが据え付けられる。移設した150～200トン機種（4基）とすっかり主役交代した。

工場の移転で、一番不安だったのは労働力だが「幸い旧工場時代の主力従業員はそのまま移って来てくれ、周辺町村からそれを大きく上回る従業員を雇うことができた」という。中小企業の人の不足が一段と深刻化するおりに珍しい。

下請組織を育てて受注をこなす

成形加工の主力は三菱自動車の部品で、全体の60～70%も占める。それにOA部品や電機部品が加わる。受注先との取引は、操業当初から一貫して変わらず、信頼を得てきた。

「良い設備で、良い製品を能率よく作る。そうすれば親企業も成形業者の立場を理解してくれる」これが足立さんの経営哲学。

親メーカーの信頼のもと、少しでも多く受注し、自社工場生産できない分は下請を育てて受注分を消化し、メーカーの要請に応えてきた。自慢の下請組織は38軒にものぼり、毎月25日には仕事の一貫として外注者会議を開き、コミュニケーションを交わしている。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会への出席有難うございました□

平成8年度の新事業計画やその事業予算を決める工業組合の通常総会が、5月21日に岐山会館で開催しました。

とくに今回は事業計画や予算のほか任期満了に伴う役員改選を行い、新しい理事長に武藤さんが選ばれました。詳しい内容はトップ記事で紹介したとおりです。事務局としましては、事業計画に示された共済事業、共同購買事業、福利厚生事業などに取り組んでいきます。

□組合の青年部へ加入してください□

工業組合青年部も総会を開き、新役員を決めた後、今後の研修や相互の親睦を深める活動内容について話し合いました。それには「会員の増強が第一」だという結論に達しました。現在の会員は18人で、発足時に比べ増えておりますが、まだまだです。二世経営者の方々、青年部へ加入してください。総会で選ばれた新役員は次のみなさんです。

▽会長=長谷典雄(信和工業)▽副会長=武山治夫(大東化工)久瀬幸博(久瀬樹脂工材)

▽監査=川瀬忠雄(川瀬樹脂工業)武藤茂(武藤化成工業所)

□自動車ローンを利用してください□

自動車の価格は年々高価になっていますが、購入資金はどうされていますか。工業組合は県内金融機関、自動車ディーラーと提携し『自動車ローン』を実施しています。金利は6.5%(アドオン方式)で、高金利時代の中にあっては比較の有利なローンです。

また、手続きも簡単で、預金口座から引き落としますので、めんどろはありません。このところ停滞気味でしたが、有利な点が多いことから利用は増えてきております。この『自動車ローン』利用についての詳細は、工業組合までご一報ください。資料をお送りします。

岐阜県のプラスチック 1991 100号

平成3年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 青木隆二

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



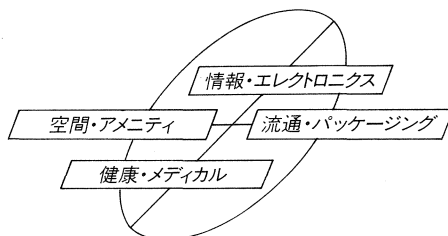
住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

ShinEtsu

Value-Tech for LIFE

確かな技術で、大きな価値を



信越ポリマーは産業、そして生活の場に“価値あるカタチ”をお届けするため、的確なニーズの把握と新しい技術開発への挑戦を続けています。“価値ある製品づくり”を通じて、豊かさを追い求める社会の要請に、タイムリーにお応えしていきます。

信越ポリマー株式会社

名古屋支店

〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル

Tel. 052-581-4231

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

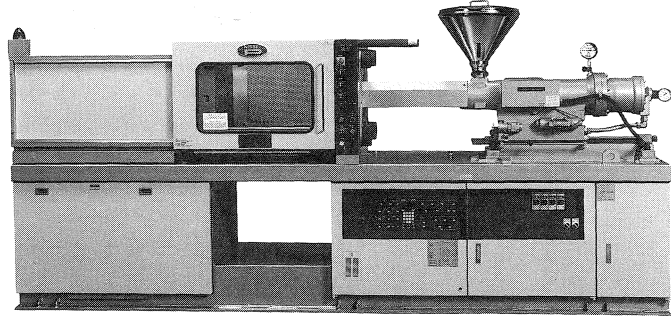
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23 (名古屋三井ビル東館)
☎ (052) 581-0651

射出成形機の新たな到達点「FE」。 「FS」の卓越した基本思想を継承し登場。



- FE**
- コンパクト設計
 - FA化の推進
 - 高剛性・高効率

- FEシリーズ
- FE 80S ●FE120S ●FE160S
 - FE 210S ●FE 260S ●FE 360S
 - FE 460S



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

次代を示す先端技術「FEシリーズ」

世界のベストセラー「FS」は、精密安定を基本理念としながら、その高品質、高精度、耐久性、省エネ、優れた操作性といったあらゆる面において、皆様から高い評価をいただきました。今回ラインナップした「FEシリーズ」は、この「FS」の卓越した基本思想を継承し、さらに発展。コンパクト設計による省スペース化、スペーサーを必要としないため、金型交換のFA化を一層推進。さらに型締剛性の向上による長期安定成形を実現しました。つねに「お客様の利益を考えた」から、高付加価値成形を提案するNo.1メーカー、NISSEIならではの真価です。

岐阜出張所 / 岐阜県岐阜市番部寺屋敷3-4西ビルF ☎0582-72-5952

★名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀 2-167 ☎(0568)75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三朝ビル1F ☎0564-52-1430

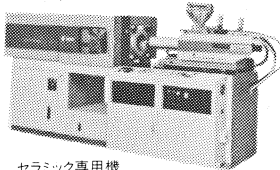
三重出張所 / 三重県津市神戸横田 203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 千389-06 長野県坂城町南条2110 ☎0268-82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社、相模原、岩槻、大塚、名古屋

●営業所 / 全国10ヶ所 ●出張所 / 全国24ヶ所 ●海外サービスステーション / 26ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦



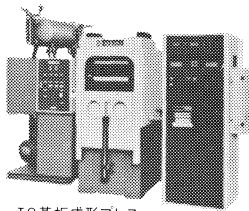
セラミック専用機

MEIKI

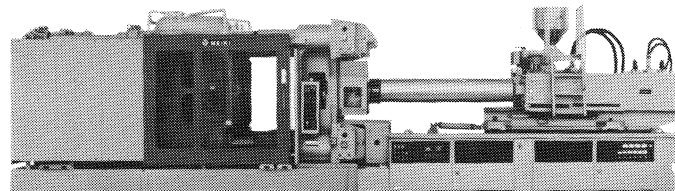


ディスク専用機

プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根 2 ☎0562)48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂アイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

JSR AES

タイコウセイジュシ

JSR XT

チヨウタイネツジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

ジコシヨウカセイジュシ

JSR MBS

PVCキョウカヨウジュシ

JSR EXCELLOY

フクゴウガタイネツジュシ

JSR CONDUCTOR

ドウデンセイジュシ

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカソセイエラストマー

JSR SIS

ネツカソセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

MAXLOY

コウキノウポリマーアロイ

DYNA FLEX

エラストマーケイフクゴウザイ

LINK FLEX

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎ (03)5565-6537

大阪支店 ☎ (06) 203-0041

名古屋支店 ☎ (052) 571-1231

広島支店 ☎ (082) 221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

いろいろ組み合わせで グルメ満足

グルメセット

個食サイズの惣菜がますます増えています。4アイテムで20種以上の組み合わせを可能にした、新しいタイプの個食用シリーズグルメセットです。セット組み販売により、売り場をさらに大きく展開できる個性が魅力です。



 **リスパック株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地（大岐阜ビル6階）
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- 東北リス(株)
- 四国リス(株)
- リスパック(株)
- 東京リス(株)
- 九州リス(株)
- リス(株)
- 大阪リス(株)
- リスエンジニアリング(株)